

◆ 3. 第 71 期第 2 回研修会報告 ◆

日 時：2022 年 1 月 14 日（金）16 時 30 分～17 時 40 分

形 式：ZOOM を利用したオンライン形式

テーマ：出版業界 2021 年の振り返りと今後の展望

講 師：星野 渉 様（文化通信社）

参加者：37 名（24 社）

今期第 2 回となる今回は、文化通信社の星野渉氏を講師にお招きし、「出版業界 2021 年の振り返りと今後の展望」と題し、年の初めに出版業界全体を俯瞰していただくことを主題としてご講演いただきました。

具体的には 4 つのテーマでお話いただきました。「出版流通改革」では、各取次が経営戦略として掲げる書店マージン 30% 実現に向けた動きを注視する必要があると捉えました。自然科学書も含めて広がりを見せる「電子出版市場」については、電子書籍を導入する図書館が増えているという興味深い報告でした。「書店の動向」というテーマでは、当初は COVID-19 禍で「巣ごもり需要」が拡大したと耳にしておりましたが、決して楽観視できない書店の減少報告がありました。最後の「出版プラットフォーム」では、頭角を現すメディアドゥにもスポットが当たりましたが、これまでも多くの独立系出版社、ならびに書店を支えてきた取次が、これからは「紙」と「電子」の両方に対応し、またそれを読者に繋ぐ重要な担い手として、出版業界全体をけん引する「総合取次」として発展していくことが今後のキーのひとつになるであろうというお話に、共感せずにはいられませんでした。

日本のみならず海外の出版事情にも精通している星野氏の見識は、多くの取材から築き上げられた有益な情報と確信しています。今回は年始ということもあり、24 社、37 名の参加者にとどまりましたが、星野氏を講演にお招きしての研修会は最前線の情報が得られる貴重な機会となりました。次回はさらに多くの皆様にご参加いただけることを期待して、今期第 2 回の研修会報告を終わります。

（研修委員会 中田 峰晃：化学同人・稲沢 会：共立出版）

